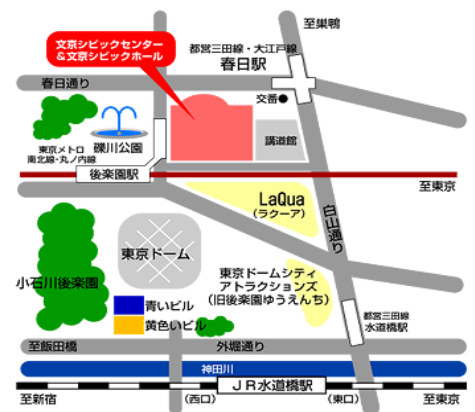


「なぜ御社はシニア人材を もっと活用できないのか？」 ～gerontology(加齢学)という視点から考える～

前回のセミナーでは、上場企業、マスコミ、人材支援など多くの方に御参加いただきました。御参加できなかった、或いは、次年度の人材育成計画を立案中の皆様のために、今年最後のご案内です。今回は、御社のシニア人材活用の現状分析に軸を置いて、一緒に考えましょう。

1 労働人口の減少による人手不足、2 改正雇用延長法の施行による65歳雇用延長、3 社会保障費用の増大による健康保険料の増加。この三点はもう避けられません。現場では、年上部下の指導に悩む管理職など、異世代間コミュニケーションの問題も生まれています。弊社では、シニアの心理・身体機能・能力の変化を正しく理解するgerontology(加齢学)を導入した研修を初めて開発、平成13年から厚生労働省所轄助成事業を委嘱された代表崎山の蓄積があります。ぜひ、お越してください。

日時 2014年 12月2日(火) 18:30～20:00
会場 東京都文京区シビックセンター5階 D会議室
 地下鉄後樂園駅5直結版出口
 JR水道橋徒歩9分
対象 法人人事・労務、総務部門の方
 中小企業経営者の方
 労務管理・人材育成に関わっている土業の方
申込み メール・FAXで事前申込
 株式会社自分案 研修部 info@jibungaku.com
講師 株式会社自分案代表取締役 崎山みゆき



(注)「ジェロントロジー」=gerontology。アメリカで先行している医学・生理学・社会学・心理学・栄養学などさまざまな学術分野を横断的にカバーする「マルチディシプナリー」の学問。加齢(エイジング)に伴う生涯発達や高齢化社会における生活、人間関係、心や健康の管理、老人介護や諸制度・政策、経済について、総合的に研究するのが特徴。日本では東大が学士・桜美林大学が博士課程を持つ。



- 1.日本の少子・高齢社会が抱える課題とその解決策。
- 2.組織が直面している課題とその解決策
- 3.なぜ、シニア人材が活用できないのか?
- 4.年下上司は年上部下をどう指導すればよいのか
- 5.gerontology(加齢学)に基づく人材マネジメント

講師略歴 崎山みゆき
 株式会社自分案代表取締役 <http://www.jibungaku.com>
 静岡大学大学院客員教授(学術博士) 産業カウンセラー
 専門分野 ビジネスコミュニケーション・対人関係ストレス・gerontology
 著書「60歳新入社員の伸ばし方・育て方」他
 特集「人事労務Q&A」、「先見労務管理」他
 実績 日本放送協会、国税局、総務省、会計検査院、株式会社ペルーナなど多数(敬称略)
 桜美林大学大学院にて生涯学習・老年学を研究。

FAX 申込用紙 03-5977-8574、8575 (以下にご記入の上、このまま送信下さい)締切11月28日

氏名

会社名・所在地

部署・役職

電話・E-mail